

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 13 日

評価対象事業		評価者	環境施設課長	谷川 克也
環境-07	重点事業	廃棄物処理施設のマネジメント事業 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	環境施設課
			関連課	環境センター
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	名越・今泉・深沢クリーンセンター、笹田リサイクルセンター、最終処分場等
意図	処理施設の整備を行うため。
効果	一般廃棄物の適正処理が図られる。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・一般廃棄物処理施設等に関する諮問機関である生活環境整備審議会において、効率的、効果的で環境への負荷の少ない安全な施設整備に向けた調査、審議を行った。 ・ごみ処理を安定的に実行していくために、名越クリーンセンター長寿命化計画に基づき、名越クリーンセンターについて必要な整備を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	334,430	43,826	当初予算(千円)	44,226		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債	232,800	32,700	地方債	33,000		
	その他			その他			
	一般財源	101,630	11,126	一般財源	11,226		
	人員配置数	1.0	1.6	人員配置数	1.6		
	人件費(千円)	7,961	13,190	人件費(千円)	12,960		
事業経費運営	総事業費(千円)	342,391	57,016	総事業費(千円)	57,186		
	市民1人当りの経費(円)	1,942	323	市民1人当りの経費(円)	324		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 廃棄物処理施設の整備については「廃棄物処理施策推進事業」で行っていく。
	事業へ統合		
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	廃棄物処理施設の整備は「廃棄物処理施策推進事業」で行い、施設整備にあつての専門的な立場からの意見を聴取する生活環境整備審議会は本事業で行う。

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・廃棄物処理施設の維持管理をするための整備を行うことで、安定的なごみ処理を継続していく必要がある。
-------------------	---

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名越クリーンセンター長寿命化計画に基づき、名越クリーンセンターについて必要な整備を行う。</li> <li>・地元住民等に今泉クリーンセンター焼却停止後の跡地を生ごみ資源化施設として活用することについての理解を得る。</li> <li>・最終処分場の試作を経て地権者へ土地を返還する。</li> </ul>	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名越クリーンセンター長寿命化計画に基づき、名越クリーンセンターについて1号炉のバグフィルターの修繕を行った。</li> <li>・最終処分場の試作を経て地権者へ土地を返還した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民等に今泉クリーンセンター焼却停止後の跡地を生ごみ資源化施設として活用することについての理解を得る。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	今泉クリーンセンターの解体工事の進捗状況					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			平成30年10月解体工事終了
今泉クリーンセンター焼却停止に伴い不要となった施設設備の解体工事の進行状況を評価するため。	目標値	-	40.0	80.0	95.0	100.0	-			
	実績値	-	30.0	80.0	90.0	100.0				
	達成率	-	75.0%	100.0%	94.7%	100.0%				

指標の内容	最終処分場6号地を廃止し、復元工事を行い地権者へ返還する。					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			令和2年2月地権者への補償を終了
最終処分場6号地について、復元工事を行い、地権者へ農地として返還する計画の進行状況を評価するため。	目標値	-	-	-	50.0	80.0	100.0			
	実績値	-	-	-	50.0	80.0	100.0			
	達成率	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	安定的なごみ処理を継続していくため、廃棄物処理施設の必要な整備を実施している。具体的な工事、修繕等を実施するものについては、その完了をもって100%とする。
-----------------------	--